

平成24年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

小論文

農学部 亜熱帯農林環境科学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章を読んで以下の各問に答えなさい。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災と原子力発電所の事故をきっかけにして、私たちは、これまで利用してきたエネルギーをより安全で、かつ持続可能な方法で得られるものに転換することが求められつつある。震災後、国会や専門機関、市民団体が開催するシンポジウムなどにおいて、原発の是非について多くの議論がなされている。原子力発電所の事故に端を発した我が国のエネルギー問題については、原発推進の意見がある一方で、風力、太陽光、水力などの他のエネルギーへの転換を図るべきとの意見もある。いずれの場合も、(1) 供給されるエネルギー量に見合った、生産から消費までの効率的なシステムを模索し、確立することが求められている。また、原発の炉心溶融は、外部への放射性物質の拡散を引き起こし、(2) 農林業における様々な負の影響が懸念されている。東日本大震災と原発事故は、エネルギー問題だけでなく、個々人の生活様式も含めた社会構造の進むべき道を考え直す「転機」になることは間違いないと考えられる。

- 問 1 下線部 (1) に関して、農業において、どのような効率的システムが考えられるか、あなたの考えを 500 字以上、600 字以内で述べなさい。
- 問 2 下線部 (2) に関して、「具体的に問題となっている危険性」と「風評被害」の 2 つについて、あなたが考えるそれぞれの原因と解決策を 500 字以上、600 字以内で述べなさい。

平成24年度入学試験問題（推薦入学Ⅰ）

出題意図

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は未曾有の大災害であり、広く国民へ報道され、受験生にとっても身近な問題である。この災害が農林水産業やその従事者に対しても甚大な影響を及ぼしていることは周知の事実であり、農業を志す受験生にとっては自分自身で考えて問題解決の方策を探ることが必要である。設問（問1, 2）は、アドミッションポリシーに掲げた生物生産および農林環境に関連する内容を記述させることを意図している。

本題は、持続可能な農業生産を進めていくための問題解決能力と総合力を諮ると共に、自分で農業を直接経営していく場合の主体性と創意工夫を試すことを意図している。